

普及現地情報

発信年月日：令和2年（2020年）8月20日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C20019
部門分類：130（工芸作物：茶）
発信者名：濱谷、竹若、近藤

クワシロカイガラムシ防除および土壌診断の研修会を開催

当課は、JA こうかと連携し、土山地区および信楽地区の茶生産者を対象に、それぞれ8月5日および8月7日に標記研修会を開催しました。

「クワシロカイガラムシ」は、茶樹の樹勢低下や新芽の伸長阻害を招くため、確実に防除する必要がある害虫です。研修会では、生産者が自らの茶園の枝を調査することで、本害虫の防除適期となる“幼虫ふ化最盛期”を茶園別に知ることにより、防除を適期に実施する判断ができることをねらいとしました。

また、土壌診断では、茶園土壌のpHが3.5を下回ると保肥力が低下し減収傾向となることから、pHの低下が見られた茶園を持つ農家に対し、土壌改良資材の施用により改善するよう指導しました。

永年作物である茶にとって、樹勢の低下を及ぼす「クワシロカイガラムシ」の防除や好適な土壌条件の維持は極めて重要です。今後も当課では、茶の安定生産に向け、技術的な研修会を定期的実施する予定です。



防除適期の判断方法を指導



地域別の防除適期を説明